

対香港鮮魚流通拡大連携協議会

■取組の背景

- 従来、香港のマーケットでは、日本産鮮魚に対する認知度は高く、大半が現地の飲食店で消費されていた。
- 一方で、コロナウイルスの感染拡大により、香港内では実店舗での買い物や外食から通販、宅配業態へのシフトが進んでおり、輸出の拡大には現状の消費形態に合わせた販売方法が求められる。
- また、香港ではCO処理を行ったブリ、マグロの流通が多く、より鮮度の良い日本産の生鮮のブリ、マグロの流通によって、輸出拡大が期待できる。

■取組の目的

- 香港内におけるネット通販を通じた日本産養殖魚の販売
- 現地でのプロモーションによる日本産養殖魚の輸出拡大

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	具体的な取組内容
事業実施者	生産	株式会社ヨンキウ	・高鮮度・高品質なブリ・マグロ・タイの生産と運搬
	加工	株式会社ショクシン	・輸出対象魚の内臓・エラ除去などの加工 ・加工品の輸出用の梱包
	流通 輸出	マルハニチロ株式会社	・輸送ルートの手配

■取組内容

生産

◆香港のニーズに合った魚の生産

- ✓ **香港内でニーズの高い魚の輸出**➢香港でニーズの高いマグロ、シマアジ、ブリを輸出の対象とし、特に現地で好まれる大きい魚体サイズの魚を輸出する。
- ✓ **安定的な供給体制**➢輸出先へ**高鮮度の魚を安定的に供給**するために、複数産地から魚を集荷し、顧客から求められるロットの確保を図る。

加工・流通

◆香港内における日本産鮮魚のネット通販スキームの構築

- ✓ **現地のネット通販を展開している企業との連携体制構築**➢香港の上場企業LUEN THAI(聯泰國際發展有限公司)の子会社で鮮魚のインターネット通販を展開している香港鮮極道社と連携し、**日本産鮮魚をネット通販を通して販売する仕組みを構築**。定期的に日本から商品を補充しながら、鮮極道社が商品のストックを持ち、注文を受けてから1日程度で消費者へ届く。

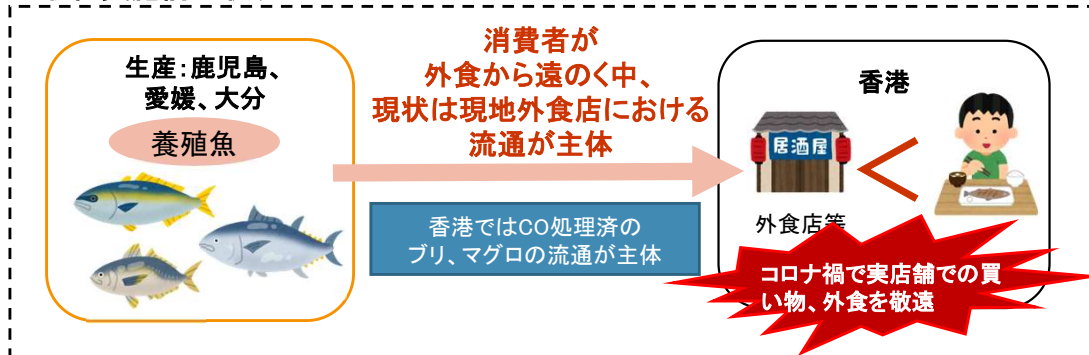
輸出

◆香港現地でのプロモーション活動

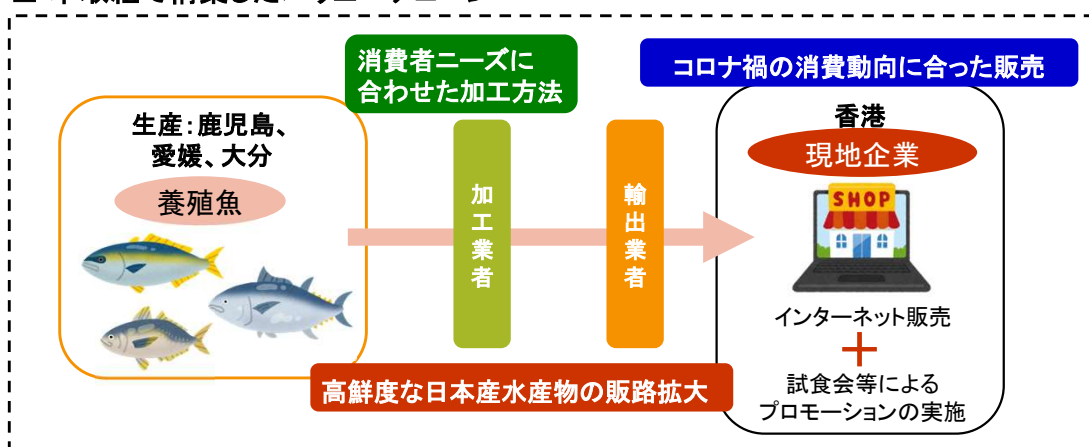
- ✓ **現地の水産展示会への出展**➢現地の**水産展示会へ出展**し、輸出対象魚のPRを実施
- ✓ **現地における試食品評会の開催**➢香港現地の連携企業主催により**試食品評会を開催**
- ✓ **POPS広告によるプロモーション活動**➢輸出対象魚の配達車や公共バスの**ラッピングによるプロモーション**を実施
- ✓ **SNSを活用した情報発信**➢現地企業の協力を得て、香港で**情報発信ツール**の1つとなっている**SNSを活用**し、輸出対象魚関連商品等について情報発信を行う

香港内における日本産養殖魚のネット販売

■取組実施前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- 現地企業と連携した香港におけるネット通販のスキームを構築。
- ネット通販における販売は好調で、週3日のペースで日本から商品の補充を行っている。
- 今後もプロモーション活動を継続しながら、輸出を実施。

★本取組によって得られたバリュー★

新規マーケット開拓

香港現地での日本産養殖魚のPR

システム構築

香港におけるネット通販を介した日本産養殖魚の販売